

英語科学習指導案

- 1 日時 平成24年5月25日（金）1校時
- 2 学年 1年5組 男子20名 女子20名 計40名
- 3 指導者 入江 将紀
- 4 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit3 はじめまして、ブラウン先生

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、ALTのブラウン先生がさくらや一郎、ベッキーの学級の英語の授業に初めて参加するという内容で、ブラウン先生の自己紹介、生徒からブラウン先生への質問という内容によって構成されている。言語材料としては、一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の肯定文や、疑問文とその応答、否定文、呼びかけの表現などが扱われている。このような言語材料等をもとに、自分のことを紹介したり、話し相手に質問したりすることが可能である。よって、本単元は、自分のことを英語でALTに紹介したり、ALTに英語で質問したりしたいという意欲をかき立てる題材であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、授業に積極的に参加し、言語活動にもペアで協力したり、教師に質問したりしながら意欲的に取り組んでいる。アンケートによると、多くの生徒は、小学校で週に一回程度の外国語活動を経験し、英語でのコミュニケーションに対し積極的であり、特にスキット活動や教師との英語でのやりとりへの興味が深い。つまり、小学校での外国語活動を通し、英語でのコミュニケーションに対する積極的な態度が十分に養われ、また、音声による授業の導入や展開に慣れ親しんでいると考えられる。本単元においても、スキットや映像などを用いた体験的な導入や音声中心の授業づくりをすれば、中学校の英語学習に対する生徒の不安を解消し、小学校から中学校への接続をスムーズに行うことができると考える。

次に、生徒の多くは「書くこと」「読むこと」の文字を用いた言語活動に興味が高いことがわかる。反面、文字の持つ正確性に不安を感じている生徒も多い。音声中心の小学校の外国語活動と異なり、中学校の英語学習では、文字を用いて表現したり、表現したことや学習したことを文字を介して体系的に整理しながら、言語材料等を身につけていくことが求められる。そこで、英語を書くためのルール等を段階的・計画的に指導することで、生徒がもつ不安を解消していきたい。また、語彙指導では、単に綴りの指導や単語の詰め込みにならないよう、コロケーション等を意識させ、

生徒がまとまりをもったり共通点を見つけたりしながら語彙を習得できるようにしたい。

以上のことから、本単元では、音声を中心にした導入や展開に重点を置いた上で、語彙指導を行う。さらに授業の終末段階においては、基本文等をノートに書かせる。その際に、段階的に書き方の指導を行い、文字への導入をスムーズに行えるようにさせる必要があると考えられる。

(3) 指導観

本単元の題材の特性を活かし、ALTとの出会いをきっかけに、自分のことをALTに伝えたい、ALTのことについて知りたいという意欲をもたせ、お互いに紹介や質問をし合えるような授業を展開したい。そのために、まず、教科書の内容を中心に、small tasksを通して自分の特技や趣味、通学方法などを伝えたり、質問したりするための言語材料等を理解させる。また、新出語彙を提示する際には、語と語のつながり等を意識させ、語、連語及び慣用表現をまとまりをもって整理させる。さらに、各時において、英文を書く際の基本的なルール等を段階的に指導しながら、「書くこと」への導入を円滑に行えるようにしたい。次に、middle taskでは、友人同士で自己紹介したり、質問し合ったりする活動を通し、既習事項を用いて自己紹介をする経験を積ませる。その後、「ニック先生とインタビューをし合おう」というlarge taskに取り組みせ、small tasksやmiddle taskの経験を生かし、自分のことについて英語で紹介したり、お互いのことについて質問し合ったりできるようにさせたい。

このことにより、小学校における外国語活動との接続をスムーズに行う共に、表現することを意識しながら主体的に英語を聞こうとする態度を育み、英語を理解する力を高めることができると思える。

【アンケート結果】 (アンケート対象者：1年5組 男子20名 女子20名 計40名)

1	小学校のとき、英語を使った活動をどのくらい体験しましたか。	
ア	週に1回程度	87.5%
イ	月に1回程度	12.5%
ウ	年に数回程度	0.0%
エ	ほとんど体験していない	0.0%
2	小学校での英語の活動で楽しかった活動を教えてください。	
ア	スキット発表	50.0%
イ	先生との英語でのおしゃべり	20.0%
ウ	その他(英語をつかったゲーム など)	17.5%
エ	英語ノートを使った活動(ビンゴゲーム など)	12.5%
3	小学校での英語の活動で苦手を感じていたことを教えてください。	
ア	先生との英語でのおしゃべり	40.0%
イ	スキット発表	30.0%
ウ	その他(一人で発表をすること、暗唱、自己紹介 など)	20.0%
エ	英語ノートを使った活動(英語を聞く活動、文字を扱う活動 など)	10.0%
4	英語の授業の中でコミュニケーションをとることは好きですか。その理由も教えてください。	
ア	好き(理由:お互いが通じ合えると楽しい、コミュニケーション力が必要、友だちが増える、習ったことが使える など)	40.0%
イ	どちらかという好き(理由:伝わりと楽しい、英語の歌がわかる、身振り手振りでも通じる など)	30.0%
ウ	どちらかという嫌い(理由:どう言っても良いかわからない、うまく発音できない など)	25.0%
エ	嫌い(理由:覚えられない、上手に言えない など)	5.0%
5	中学校の英語の授業でできるようになりたいことを教えてください。	
ア	書くこと	60.0%
イ	読むこと	40.0%
ウ	話すこと	35.0%
エ	聞くこと	5.0%
オ	その他	0.0%
6	中学校の英語の授業で不安に感じていることを教えてください。	
ア	書くこと	62.5%
イ	話すこと	12.5%
ウ	聞くこと	10.0%
エ	読むこと	10.0%
オ	その他(不安は特にない)	7.5%
7	初めて来られるALTの先生にどんなことを質問したいですか。	
	・なぜ日本に来たのか ・出身地 ・鹿児島県の好きな場所 ・好きな色 ・出身地 ・趣味 ・好きな映画 など	

6 単元の計画

(1) タスク 「ニック先生とインタビューをし合おう」

(2) large taskで活用させたい主な言語材料等

言語の働き	学年・単元	教科書での表現 ※太字は小学校で慣れ親しんでおり、本時と関連のある言語材料等
自己紹介する	1年 U3-①	I like soccer.
	1年 U3-①	I play soccer every Sunday.
	1年 U3-②	I come to school on Tuesday and Friday.
	1年 U3-②	I walk.
	1年 U1-①	I'm Becky.
	H・F1 L1	My name is Suzuki Sakura.
	H・F2 L3	I can swim very well.
	H・F2 L8	I want to be a singer.
質問する	1年 U3-②	Do you play the piano?
	1年 U3-②	Do you come to school every day?
	1年 U3-②	Do you come by bike?
	1年 U3-③	Do you drive?
	1年 U3-③	Do you want a car?
	1年 U3-③	Do you speak Japanese?
	1年 U1-③	Are you from Canada?
	H・F2 L3	Can you play soccer?
質問に答える	1年 U3-②	Yes, I do.
	1年 U3-②	No, I don't.
	1年 U3-③	Yes, but I don't have a car now.
呼びかける	1年 U2-②	Excuse me.
あいさつをする	1年 U1-①	Hi.
	1年 U1-①	Nice to meet you.
相づちをうつ	1年 U1-②	Me, too.

(3) 第6時における自己紹介とALTへの質問を含んだ会話の例

S: Hi. I'm Ken. I'm from Fuzoku elementary school. Nice to meet you.
ALT: I'm Nick. Nice to meet you, Ken.
S: I like soccer.
ALT: Oh, me, too. I play soccer every day. Do you play soccer, too?
S: Yes, but I play soccer on Tuesday and Friday. Do you come to school by bus?
ALT: No, I don't. I come to school by bike. Do you like English?
S: Yes, I like English.

(4) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 相づちをうつなどして相手の話に関心をもって聞いている。 ② but などの接続詞を使ったり, no で答えた時に, 一言加えたりすることなどで, 話を続けようとしている。	① 正しい姿勢, インтонаーション, 区切りなどを用いて話すことができる。 ② ALT のに自己紹介や質問をしたり, ALT からの質問に答えたりすることができる。	① 語句や表現, 文法事項などの知識を活用して自己紹介の内容を正しく聞き取ることができる。	① 一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造を理解している。

(5) 指導と評価の計画

時間	○タスク ・学習活動	単元の評価規準	評価方法 (総括的評価)
1	○ [small task] 単元のあらましを理解しよう ・ Unit3 のスキーマ形成 ・ large task の設定 ・ 自己紹介スピーチをするために必要な情報の収集		
2	○ [small task] 好きなことや部活について紹介し合おう ・ Part1 の内容理解と音読練習, 一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の形, 意味, 用法の理解と表現練習, 英文の書き方の指導 ・ 自分の好きなことや部活動についての紹介	エー①	後日ペーパーテスト
3	○ [small task] 友だちにインタビューをしよう ・ Part2 の内容理解と音読練習, 一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の疑問文の形, 意味, 用法の理解と表現練習, 英文の書き方の指導 ・ インタビューゲーム	エー①	後日ペーパーテスト
4	○ [small task] ニック先生への質問を考えよう ・ Part3 の内容理解と音読練習, 一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の疑問文の形, 意味, 用法の理解と表現練習, 英文の書き方の指導 ・ ALT への質問の作成	エー①	後日ペーパーテスト
5	○ [middle task] 自己紹介をしよう ・ 自己紹介文の作成 ・ グループでの原稿の添削と発表練習 ・ グループや全体での自己紹介	アー① イー① ウー①	ワークシート 活動の観察
6	○ [large task] ニック先生とインタビューをし合おう ・ ALT に対する自己紹介と質問, ALT の先生からの質問への応答	アー② イー②	活動の観察 ALT による評価 用紙

7 本時の計画

(1) 本時のタスク

「友だちにインタビューをしよう」

(2) 指導の重点

「話すこと」

(3) 本時の目標行動

導入時において、英語を用いたゲームにより、十分学習への雰囲気作りを行った後、映像でのスキットを見る。その際、インタラク션을図りながら、体験的に本時において使用する言語材料等を理解する。その後、様々な人物へ質問する活動を通して、基本的な表現への理解を十分深める。また、教科書本文の聞き取りや音読練習を通して、英語の音声の特徴を捉えさせた後、友人同士で互いのことについて質問し合う。その後、英文を書く際のルールを確認し、授業の終末時に、本時で学習した言語材料等の知識や技能をノートに整理し、まとめを行う。

(4) 本時の指導目標

ア 間違いを恐れずに積極的に友人に質問したり、一言付け加えるなどして会話を続けようとしたりする態度をはぐくむ。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 聞き手を意識して、英語の音声の特徴に気をつけながら、友人に質問したり、質問に対し適切に応じることができるようにさせる。 【外国語表現の能力】

ウ 友人からの質問を聞く際、聞き返すなどして内容を確認しながら、理解できるようにさせる。 【外国語理解の能力】

エ 友人に質問したり、友人からの質問に答えたりする上で、必要な表現や文構造について理解させる。 【言語や文化についての知識・理解】

(5) 授業設計上の工夫

ア 小学校における外国語活動との接続を意識した言語活動の工夫(研究冊子 英12-Ⅲ-3参照)

今回の学習指導要領改訂で小学校に外国語活動が導入され、特に音声面を中心として外国語を用いたコミュニケーション能力の素地が育成されることになった。そこで、本課までは音声面を中心とした小学校での外国語活動との接続を意識して、「話すこと」「聞くこと」などに重点を置くようにする。

具体的には、授業においては、生徒が写真や実物、動画等を通して、言語材料等の意味や働きを捉えさせ、主体的にタスク設定を行い、意欲的にコミュニケーション活動を行うことができるようにする。また、その捉えた言語材料等の内容を活用し、実際に友人と質問させ合うことで、体験的に理解を深めさせる。その活動の中で、十分に言語材料等への理解を深めさせた上で、その内容を知識として整理できるようにさせる。

このことにより、小学校における外国語活動との接続をスムーズに行う共に、表現することを意識しながら主体的に英語を聞こうとする態度を育み、英語を理解する力を高めることができると考える。

イ 語と語の結びつきを意識した言語活動の工夫（研究冊子 英7-III-1-(1)-イ参照）

フラッシュカードで新出の語彙を提示する際に、コロケーションを意識した形も提示することで、語と語のつながり等を意識できるようにする。また、そのことにより、複数の表現間における共通点に気づき、それらをよりまとまりをもって整理して理解できるようにする。また、言語活動の中でも、語と語のつながり等を意識しながら活用できるように工夫し、より活用しやすい形で言語材料等の習得を深められるようにしたい。

これらのことにより、生徒は語と語のつながり等を意識しながら語彙を習得し、また、それらを活用してよりよく表現できるようになると考える。

(6) 本時の実際 (3/6)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆ 評価 □ 補説 (研究との関連)		
導 入	Start Greetings 1 Warm-up 2	10'	1 英語であいさつをする。 2 英語を用いたゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の雰囲気を作るために、大きな声で元気にあいさつさせる。 教科書の内容や小学校で慣れ親しんでいる身近なことばを用いることで、学習への意欲や雰囲気を作る。 		
	Grasping Task 3		3 本時のタスクを把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオを見せながら、インタラク션을図り、インタビューへの意欲をもたせた上で、タスクを提示する。 		
展 開	New Expressions 4 Oral Interaction 5 Listening 6 Check of Understanding 7 Reading Aloud 8 Activity 9 Presentation 10	30'	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">友だちにインタビューをしよう。</p> 4 インタビューに必要な言語材料等をインタラクションやパターン・プラクティスを通して、理解する。 5 教科書の本文の概要を把握する。 6 リスニングのポイントに従って、教科書の内容を理解する。 7 教科書の内容に関する教師の質問に答える。 8 教科書を音読する。 9 友人とインタビューゲームをする。 10 新出表現を用い、教師と会話をする。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオの内容を想起させながら、体験的に言語材料等を理解させる。(指導案 英5-7-(5)-ア) 新出語彙を語と語のつながりを意識しながら導入する。(指導案 英6-7-(5)-イ) ピクチャーチャートを用い、スキーマを活性化させた上で、概要を理解させる。 生徒の理解の状況を把握しながら、段階に応じて、段階的に新出語句を与え、練習させる。 		
	Check of Understanding 7		7 教科書の内容に関する教師の質問に答える。	<ul style="list-style-type: none"> 教師の質問に、適切に答えることができたか。 教科書の文を見ながら、再度聞き取りを行わせ、その後質問に答えさせる。 		
	Reading Aloud 8		8 教科書を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声の特徴をとらえさせた上で、繰り返し、練習させる。 		
	Activity 9		9 友人とインタビューゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声の特徴に気を付けて会話させたり、聞き返すなどして質問の内容を確認させたりする。 		
	Presentation 10		10 新出表現を用い、教師と会話をする。	<ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れずに積極的に、会話することができたか。 再度、ペアで練習、確認させ、自信をもたせた上で、会話させる。 		
	Evaluation 11		11 本時で学習した表現を振り返りながらまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> インタラクションを図りながら、体験的に理解した言語材料等を整理させる。(指導案 英5-7-(5)-ア) 英文を書く基本的なルールを確認しながら、基本文を書かせる。 次時への見通しをもたせる。 		
	Assignment 12		12 今後の活動の見通しをもつ。			
	End					
	終 末		Evaluation 11 Assignment 12 End	10'	11 本時で学習した表現を振り返りながらまとめを行う。 12 今後の活動の見通しをもつ。	